

Chaochen Wang <abelardccwang@gmail.com>

遺伝相関

Takeshi Nishiyama <psychogenomics@gmail.com>

2017年5月9日 下午5:23

收件人: Masahiro Nakatochi <mnakatochi@med.nagoya-u.ac.jp>

抄送: Chaochen Wang <abelardccwang@gmail.com>

仲杤先生,

CC 王先生,

王先生に計算してもらった。GCTAによる遺伝相関(と表現型の相関)係数の結果を送ります。

睡眠時間と遺伝的に有意に相関していたのは、<u>飲酒・ストレス・血圧・学歴</u>でした. その中で、学歴とストレス間、飲酒と血圧間にはそれぞれ有意な遺伝相関が あったので、この両方に遺伝的に効いている第3の変数があるんじゃないかと思われました.

Correlation bewteen two variables (both genetic and phenotypic correlation)

	Alcohol	Stress	Education	SBP
Alcohol	_	- 0.13 (-0.32, 0.07)	-0.11 (-0.28, 0.06)	0.27 (0.12, 0.43)
Stress	-0.06 (-0.08, -0.03)	_	0.42 (0.14, 0.71)	-0.23 (-0.48, 0.02)
Education	0.10 (0.07, 0.12)	0.03 (-0.00, 0.07)	_	-0.13 (-0.32, 0.07)
SBP	0.19 (0.17, 0.21)	-0.14 (-0.17, -0.11)	-0.02 (-0.06, 0.01)	_

upper right: rG lower left: r

例えば、前者だとパーソナリティのビッグ5の中の「勤勉性」,後者は 「非健康生活度(health consciousの反対)」のようなものを想定できると思います.

以上,ご報告まで.

sleeprGsummary.xlsx 22K